

近畿支部会報2014年4月号

桜満開の4月、やはり春の訪れは良いですね。外歩きを楽しんで、心と体の健康を保ちたいものです。



さて、最近サーバスでとても嬉しい事がありました。Kさんというカナダのサーバスメンバーの事です。その方は幼少の5年間を和歌山で過ごされた後、カナダへ移住されました。今回自分の故郷を探したいと来日されることになりましたが、和歌山にサーバス会員がいないので、私への連絡となりました。休会中であった和歌山の会員・Nさんに連絡した所、快くサーバスホスト会員へ復帰して下さい、Kさんとメールの交換を始めて下さいました。Kさんからは1月頃に連絡がありましたが、具体的にスケジュールを組まれ、サーバスホストを依頼して来られたのはすごく後でした。この時期、近畿はトラベラーが多く、既に会員は受け入れ者が決まっています、なかなかホスト宅を探せませんでした。Kさんの83歳というお歳からして、これが最後の日本訪問になると思えるので、何とかサーバスステイをと思いました。半ば、ホテルでも仕方がないかなと思いつつ、支部会員に再度グループメールでお願いした所、決して諸手を挙げてOKという事ではなかったでしょうに、Aさんが待ち合わせ時間を工夫するなどして、受け入れて下さいました。会員さんのご協力、ルーツ探しもホスト宅滞在中もKさんのお望み通りに出来て、本当に良かったと、感謝の気持ちと暖かい思いで一杯です。

今回の会報は、次の内容でお届けします。

1、例会報告	支部長
2、トラベラー受け入れ報告	ドイツからのゲスト 交野市 S.S
	バイタリティ溢れる訪問者 生駒市 O.Y
	日本文化に詳しいトラベラー 長岡京市 T.S
	ルーツ探しのお手伝い 和歌山市 N.T
3、会員交流「北から南から」	初めまして 京都市 T.Y
	英語教育 生駒市 O.Y
4、お知らせとお願い	支部長

1、例会報告

支部長

日時：2014年4月6日（日）

場所：福井県 敦賀

出席者：支部役員2 会員1 家族3 計6人

敦賀へ美味しい魚と桜を求めてのお楽しみ例会です。天気は午前晴れ、午後雨の予報であったのに、何たる事か、前日の夕刊から1日中雨に変わりました。当日は予報通り、敦賀に近づくと小雨。「あーあ、いやになる」。駅について先ずは昼食と、魚市場も持っているまるさん屋に行き、よくばり御膳等を注文した所、「食べられるかなあ」という量の美味しそうな料理が運ばれてきて、地酒で乾杯。食事が始まると皆良い気分。「今日はこれで満足」と天気の悪い事等気にならなくなりました。そして昼食を終えて外に出た所、何とお日様が照っているではありませんか。「何とラッキーな事」 歩

を進めて氣比神社に行き、芭蕉の像や句碑を楽しんだ後、本殿へ。拝んで後ろを向くと、「ああっ！」今度は大粒のあられ、天気はその後もこんな事の連続でした。桜会場への道の両脇は桜並木、よくもまあこんなにたくさん町中に桜を植えたものだと感心しながら丘の上の会場・金崎宮へ。満開の桜と桜祭りのイベントのための可愛い巫女さんたちとひと時を過ごしました。会場からはるか彼方まで海が見渡せ、良い天気だったら海の眺めももっと楽しめただろうにと思いながら、帰路につきました。良き仲間との楽しい1日でした。



2、トラベラー受入れ報告

ドイツからのゲスト

交野市 S.S



12月26日に6日間のゲストがドイツから来ました。MとIです。”1週間、お互い交換ステイできるならどうぞ。”とリストに書いてあったためでしょうか？秋の終わり頃、ホームチェンジ1週間しませんか？とメールが入りました。私も滞在できるならOK.ということで彼等はやってきました。サーバスのイントロダクションはハンガリーでパスポートはドイツ、住まいはオーストリア？

友達に「どこの国の人？」と聞かれて困りました。来られてから聞くと、住居はオーストリアで奥さんの実家がハンガリーで100Km位の近いところ。それで行ったり来たり、ゲストが来るとハンガリーの家を貸したりするそうです。彼女は雑誌関係のお仕事で彼は草刈り機の会社で働き、主にセールスのようなお仕事でした。彼は日本に何度か来ていて、日本文化にも明るい。バクパイプ(羊に皮で作った袋にパイプをつけたリード楽器の一種)を演奏し、日本の篠笛も演奏できるそうです。

一週間の滞在なので、何か日本の文化交流になればと思い、公民館の琴や三味線教室、舞踊教室など参加させてあげたいと思い、いくつか電話で問い合わせてみましたが、12月26日では公民館そのものがクローズされて残念ながら文化交流はなりませんでした。

年末で頼まれていた用事がいくつかあり、私自身も忙しく、奈良の友達に2日間、奈良を案内して頂き、夕食作りも助けてもらいました。奈良では印鑑づくりにはまり、Mの氏名を日本語表記で作っていました。京都は京都に住んでおられたサーバスメンバーのTさんに京都を2日間、案内して頂きました。夕



食も Tさんと一緒に作りました。

夜は Mのバグパイプを演奏してもらいました。ハンガリーではこの楽器で演奏してステップなど、みんなで踊って楽しむそうです。

バイタリティ溢れる訪問者

生駒市 O.Y

スペイン人の Aさん他2名を奈良公園にデイホストしました。

全員 60歳越えの女性3名。とてもバイタリティある方々でした。

2名は元教師。1名は現役のお医者さんという知的な彼女たちは、中年新米教師の私に色々アドバイスをしてくれました。新しいことを学校で始めるには、周りの理解を得るための時間があること、クラスのボス的な存在をおさえることが大事なことです。国が違っても変わらないものなんですね。奈良公園に出かける前の朝食タイムの喫茶店で、妙に盛り上がりすぎてしまいました。いっしょーいっしょー的な感じで、10年もやれば楽になる。と言われ、気が遠くなりそうになったら、いや5年かしら？なんて会話であつという間に仲良くなりました。



その後、興福寺の国宝館。東大寺。春日大社。奈良町と巡りました。奈良町では彼女たちの町に留学していたというスペイン語を話せる日本人女性と出会って、なにやらワイワイ！！私はちんぷんかんぷんでしたが、彼女たちは喜んでおられたと思います。

次は姫路城に行くと姫路に向かって JR 奈良駅から旅立って行きました。

デイホストは初めてだったのですが、とても有意義な一日でした。

日本文化に詳しいトラベラー

長岡京市 T.S

- ・受入日 2月14、15日
- ・受入れた方 W.H 58歳 E.H 60歳のご夫妻
(ポーランド、ポズナン市より来日)

2月に、ポーランドより来られた、Wさん、Eさんのご夫妻を受け入れました。Wさんは大学でソフトウェアを教えるとともに、自分でも小さな企業を経営されている方です。



奥様の Eもポズナン工科大学の(英語?)教師をされています。お二人は以前アメリカに3年住んでおられたとのこと。大学のテクノロジーの先生ということで、どういう人かなと幾らか身構えていましたが、お二人とも大変気さくで楽しい方でした。食事は、手巻き寿司なども考えたのですが、もし生魚が苦手だったらと考えて、無難なところで鳥の唐揚げ、野菜の煮物、吸い物などを用意しました。お聞きすると、お二人とも寿司が大好きで、すでに東京(たぶん築地)で本場の寿司を堪能されたとのことでした。

話題として日本文化に能とか歌舞伎というものがあると話しかけましたら、すでに能は鑑賞して、このあと歌舞伎も見るとのこと。びっくりしました。また、「ネツケ」を知っていますか、と聞かれて、私は何のことか分からなかったのですが、タブレットで画像を示されたのを見ると、「根付け」という、印籠などを腰にぶら下げる時の止め具で、それが発達して美術の一つの分野になっているものだと知りました。翌日、お二人は京都の壬生にある「清宗根付館」という根付美術館に行か

れ、満足そうに帰ってこられました。高円宮妃の書かれた立派な本を購入され、私も見せて頂きました。

日本は二週間ほどの旅ということでしたが、自分たちが興味を覚えるものを効率よく見てまわる、お二人のスマートさに感心しました。写真は帰国後送っていただいたもので、大阪で撮られたということです。

ルーツ探しのお手伝い

和歌山市 N.T

トロントからのご夫妻を3泊受け入れた。来日の目的の1つが和歌山でのルーツ探しだった。町役場で情報を貰おうと提案したが、現地へ行けば家は分かるとのこと。しかし現在83歳の人の5歳の時の記憶は心許ない。大きな柿の木、小高い寺。お寺の名前は知らないと、まるで雲を掴むような話。しかし美浜は多くの人がカナダに移民した歴史がある。知り合いに繋がりさえすればと期待するが、ほとんどがすでに故人。



母方の実家のあった町を歩いたがピンとくる風景は無く、失望の表情が浮かんだ。次に生家があるはずの三尾に向った。交番へ入ったが無人。さあ、困ったと立ち往生していると、彼は急に歩き始めた。どんどんと速足になり、私が追いかけた。路地を何度も曲がる内に迷路に入ったようになったが、雨降りの寒い日なので人に出合わない。相当、歩き廻った後、70歳くらいのご婦人に会えた。苗字で尋ねると、下の名前はと聞いてくださり、順々に挙げていくがご存じない。何人目かの名前に反応があり、この後はまるで導かれるように、より詳しい方に次々とバトンタッチされて、お母さんの墓に辿り着いた。墓石に両手を押し付けて咽んでおられた。一部分だが残っていた生家にも行けた。彼の記憶通りだったのに驚いた。



KさんとPさんが23日~25日までいらっしゃいました。年齢を感じさせないくらいお元気そうでした。今回は、ロスにお住まいの子どもさん家からで日本3週間の予定でした。東京から、我が家に来られ、大阪城・海遊館・大阪市内散策されました。25日は、岸和田城近くで、ランチ、だんじり会館を見て、東岸和田駅に送っていただきました。

和泉市 A.K

3、会員交流「北から南から」

初めまして

京都市 T.Y

はじめまして。昨年サーバスに入会したものの、老親の世話に追われてまだ何も活動しておりません。大阪から京都に引っ越したばかりで、公私ともに落ち着くまでもう少しかかりそうです。

私にサーバスの入会を勧めてくれたのは、ブラジル人の友人、Aです。彼女はポルトガル語、フランス語、英語に精通しており、優しく、親切で、思いやりのある女性です。Aと初めて出会ったのはロンドン。十三、四年前です。私は演劇や映画が大好きでロンド



ンには私の大好きなアルメイダ劇場があります。A のミドルネームはアルメイダで、なんだか不思議な縁を感じます。彼女は忙しい仕事の合間をぬってサーバスの活動をしているようです。

私は最近スピリチュアル系の本にはまっており、いずれまたイギリスに行きたいと思っています。若い頃はアメリカやイギリスでホームステイを経験し、ヨーロッパ旅行では B&B などのアットホームな宿に泊まって、大変楽しい思い出深い時間を持つことができました。来日する外国の方の少しでもお役に立てればと思います。よろしくお願い申し上げます。

英語教育

生駒市 O.Y

奈良の会員の O です。現在京都の高等学校で英語の教員を始めて 2 年目に入ります。

この春休みに ESS の活動として留学生との交流会を実施しました。その内容に H さんが興味を持たれ記事の依頼を受けました。Servas の活動とは全く関係はないのですが、会員の方々に興味を持って読んでいただければ幸いです。

そもそも私が 42 歳という歳で教員になって一番伝えたいことは英語は何のために学ぶのか？の答えは外国の人とコミュニケーションするためなんだ！ということなのです。レベルの高い学校に行っても、低い学校に行っても、通常の生活で周りに外国人がいない＝英語が必要ないという日本において、英語学習の目的が受験や定期試験の点を取ることで、本当の目的をちゃんと伝えていない(自分自身も含めて) といつも感じています。学校にいる Assistant Language Teacher(外国人の英語の先生)はほとんどの学校で 1 年生だけが関わり、それも月に 1～2 回というのが現実で、なかなかコミュニケーションを個人がする対象となりきれてないです。そんな中でせめてクラブ (ESS) の子供たちには、私の個人的な繋がりを使ってでも外国人との関わる機会を増やすことで、本来の英語学習の目的をちゃんと心で感じ取ってもらって、楽しい！と思って英語を学んでほしい、自分の気持ちを伝えようとチャレンジすることこそが英語の力を伸ばすことだということもわかって欲しいと思っていました。

そういう機会がやってきたら活用してみようと前々から考えていたのです。

そんな時に、千葉に住んでいる私のいとこがホームステイで受け入れているドイツ人の留学生 (高校生) の L を京都・奈良に観光に連れて行ってほしいという依頼が入りました。ホストをする交換条件に女高生との交流をしてほしいという条件を出したら、快く相手の留学生も受け入れてくれたので、ESS のメンバーと京都観光を一緒にしよう！ということが決まりました。

金閣寺～龍安寺～四条京町屋～錦市場というコースは L の希望を聞いて私が決めました。しかしながら本校の生徒の英語力は正直言ってかなり低いです。中学生レベルの自己紹介ですら自信が持てない感じです。ですからクラブの生徒には宿題を出しました。観光名所等を 1 分で英語で説明できるという内容の本を学校の図書館で借りて、関係あるページを見ながらで良いので読めるように練習することです。

実際の交流はほとんど日本語となってしまいました。宿題の説明文以外は全部日本語で話していたと思います。それでも宿題の英語はちゃんと通じていたようでした。なにより日本に来て半年という L が話す日本語のレベルがかなり高かったのです。逆にどのようにして日本語を学んだかという話を L が日本語で生徒達に熱く語ってくれました。「読むだけでも駄目、書くだけでも駄目、絶対に毎日話すこと！それが一番大事！」

生徒達はその言葉を聞いて、クラブの活動の中で日本語禁止タイムを作ってみようかという私の提案に「やってみよう」と言ってくれました。クラブの活動には学校に来ている Assistant Language Teacher はいつも来るのですが、わからなくなると教員に助けを求めて自分たちで辞書で調べて自分たちで言葉を紡ぎだそうとしない子達でした。その子達が「禁止タイムには辞書は持って行ってもいいんですか?」と聞いてきました。その言葉を聞いた時に、私が教員になって一番伝えたいと思っていたことを、この交流会でこのメンバーは理解してくれたかもしれないと思いました。(正直、いつまで彼女たちのモチベーションが続くは不安ですが) この経験がどのように生徒たちの中で育っていくのかは、まだ2年目の私にはわかりません。それでも同じようなことを続けていきたいと思っています。Servas のゲストとも機会があれば関わらせてやれればと願っています。また自分自身が何のために教師になったのかを思い出すためにも、Servas の活動は細々とでも続けていきたいと思っています。やっぱり色々な国の人のいろんな考え方を聞いたり、話したり、日本の良さをわかってもらうことって、とっても楽しいことですよね。そのために英語は学ぶのだと私は思っています。

4、お知らせとお願い

支部長

- * すでにご案内しています様に、次の例会は5月17日 H 宅で行ないます。戦争の貴重な体験をお聞きするのがメインですので、どうぞお友達もお誘い下さって、多数ご参加下さい。
- * 6月22日(日)、「生駒の自然と食を楽しもう」というお楽しみ例会も準備しています。詳しくは後日ご案内しますので、ご予定下さい。
- * 先日日本サーバス2014ホストリストをお送りしました。その中に入れていた電子ホストリストに関する物は、今しばらくご保存下さい。
- * 2014 年度サーバスの年会費(一般3000円 学生2000円 休会者B1500円)をまだお納めいただいていない方は、下記の口座へ宜しくお願ひします。

口座番号 00990-6-33645 加入者名 日本サーバス近畿支部